ソフトウェアを開発する製品開発者の皆様へ

製品開発者向けガイド

開発時の
脆弱性の
作り込み

脆弱性の
発見・対処の
不備

サプライ
チェーンの
管理不足

事業活動の基盤である
ソフトウェアが
狙われている

2026年
3月
公開

PSIRT体制の
未整備

必要プロセスの
未整備

ガバナンスの
機能不全

脆弱性対策には
体制・プロセスの
整備が重要

必要な人材・プロセス・技術の整備は経営者の責務である

優れたソフトウェア開発ライフサイクルの実践は、重大な「経営課題」

https://www.ipa.go.jp/security/guide/vuln/for_dev_user.html

製品開発者向けガイド

製品開発者が抱える悩み

自組織内でセキュアなソフトウェア開発を実践し、提供するソフトウェアへの脆弱性の作り込みを回避したい

発見された脆弱性や、脆弱性を狙うサイバー攻撃・インシデントに、迅速に対応し、提供するソフトウェアのセキュリティを維持したい

経営層が果たすべき役割

ソフトウェア製品のセキュリティを確保する役割を担うPSIRT体制の構築

外部委託や組織間の連携強化を効果的に活用した必要な人材・プロセス・技術の整備

製品開発者において実施すべき脆弱性対処を紹介

脆弱性の作り込み回避の取組

- セキュア・バイ・デザイン及びセキュア・バイ・デフォルトの実践
- ソフトウェアのサプライチェーン全体でのセキュリティ対策
- セキュアコーディング・セキュアビルドの実施

など

ソフトウェアのセキュリティ維持の取組

- 脆弱性開示ポリシーの策定
- 外部からの脆弱性報告を受け付ける対応窓口の設置
- コンポーネント等の脆弱性情報の監視・収集
- ソフトウェア部品表(SBOM)を活用した脆弱性管理

など

IPA 独立行政法人**情報処理推進機構**
セキュリティセンター

〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号
文京グリーンコートセンターオフィス 16 階
TEL:03-5978-7527 FAX:03-5978-7552
mail to:vuln-inq@ipa.go.jp URL:http://www.ipa.go.jp/security/